基礎評価シート（令和６年度　実績）

予算等事業名	防災訓練・自主防災組織育成事業				所管課	防災安全課
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	●
事業対象	町民	目的	防災訓練を実施し、住民の防災意識（自助・共助の精神）の向上を図る。			
事業概要	総合防災訓練、自主防災組織訓練の実施					

事業予算							
会計	01	款項目	02	01	11	大事業	防災訓練・自主防災組織育成事業

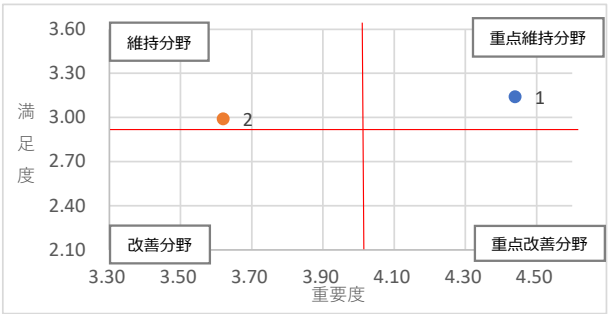
	R５決算額（千円）	R６決算額	R７決算見込	R８事業費	R９事業費
直接事業費	252	175	216		
概算人件費	1,922	1,722	1,722		
トータルコスト	2,174	1,897	1,938	0	0
国庫/県支出金	0	23	0	0	0
その他	0	0	0	0	0

R６概算人件費			
正規職員	0.38 人	1,722 千円	
再任用職員	人	千円	
会計年度任用職員	人	千円	
その他	人	千円	
合計		1,722 千円	

成果指標			基準値	R５	R６	R７	R８	R９
①	地域活動に参加している人の割合【戦略】（%）	計画値	32.0	32.5	33.0	33.5	34.0	34.5
		実績値		25.9	23.3			
②	自主防災訓練を実施している地区数【戦略】（地区）	計画値	15	16	17	18	19	20
		実績値		15	14			

町民満足度調査結果（令和３年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	防災・災害対策	4.44	3.14
2	町民参画・協働	3.62	2.99
3			
全体平均		4.09	2.93



重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	町全体の訓練として町立体育館を会場とする総合防災訓練を実施し、ペット同行避難、給水訓練、ボランティアセンター開設等の訓練を実施した。地区ごとの訓練として、地区の要請に応じた11回の自主防災訓練を実施した。
	課題	総合防災訓練は熱中症対策を含め、夏季以外の開催を検討する必要性があることと、防災への関心が低い方や若者世代が参加しやすい訓練となるよう工夫する必要がある。自主防災訓練は開催地区が減ったため、例年行っている年度初めの地区長連絡協議会での勧奨のほか、好事例の紹介など開催地区を増やす工夫をする必要がある。
今年度	成果（実績）	従前の課題であった夏季の総合防災訓練を11月に変更して実施した。また、防災への関心が高くない方への啓発として、ふるさとまつりと同時開催で体験型の防災フェアを開催し、多くの来場者を得た。また、地区ごとの自主防災訓練を16回（合同開催、午前午後開催は1回として計上）開催し、地域特性に応じた啓発ができた。
	課題	様々な世帯のうち、特に事前の備えが必要な高齢者や障がい者、幼い子を持つ世帯への啓発を進める必要がある。

※　総合評価：「良好」「適当」「不良」　　※　方向性　「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持

２次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和６年度　実績）

予算等事業名	防災施設維持管理経費				所管課	防災安全課
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	●
事業対象	町民・町	目的	町の防災力の向上及び危機管理体制の強化を図り、災害時における迅速な応急活動に努める。			
事業概要	・防災施設維持管理 ・防災機器の整備拡充					

事業予算							
会計	01	款項目	02	01	11	大事業	防災施設維持管理経費

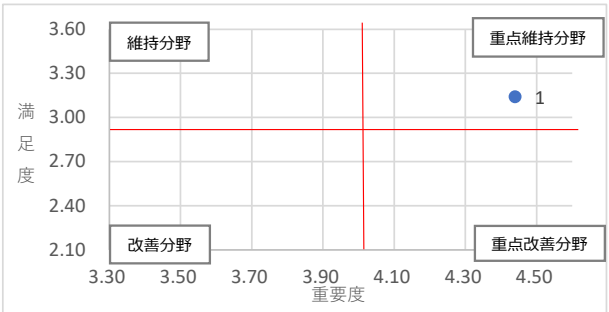
	R５決算額（千円）	R６決算額	R７決算見込	R８事業費	R９事業費
直接事業費	9,444	9,035	22,603		
概算人件費	1,741	2,200	2,200		
トータルコスト	11,185	11,235	24,803	0	0
国庫/県支出金	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0

R６概算人件費			
正規職員	0.52 人	2,200 千円
再任用職員	人	千円
会計年度任用職員	人	千円
その他	人	千円
合計		2,200 千円

成果指標			基準値	R５	R６	R７	R８	R９
①	－	計画値						
		実績値						
②		計画値						
		実績値						

町民満足度調査結果（令和３年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	防災・災害対策	4.44	3.14
2			
3			
全体平均		4.09	2.93



重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	年間を通じて大きな機器等の故障もなく、適切に町民への情報伝達を実施できた。
	課題	設備の耐用年数超過や老朽化が見られる。また、消防庁舎の大規模改修や今後の新庁舎移転を見据え、機器更新や移転に多額の費用がかかることから、防災行政無線を含めた情報伝達のあり方を検討する必要がある。
今年度	成果（実績）	年間を通じて大きな機器等の故障もなく、平常時は適切に町民への情報伝達を実施できた。
	課題	設備の老朽化が見られる。また、台風接近時や冬季は情報伝達に困難な状況が見られ、緊急度や重要度に合わせた多重的な情報伝達のあり方を引き続き検討する必要がある。

※　総合評価：「良好」「適当」「不良」　　※　方向性　「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持

２次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和６年度　実績）

予算等事業名	防災対策経費				所管課	防災安全課
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	
事業対象	町民・町	目的	町の防災力の向上及び危機管理体制の強化を図り、災害時における迅速な応急活動に努める。			
事業概要	・二宮町防災会議の運営 ・防災資機材の整備拡充					

事業予算							
会計	01	款項目	02	01	11	大事業	防災対策経費

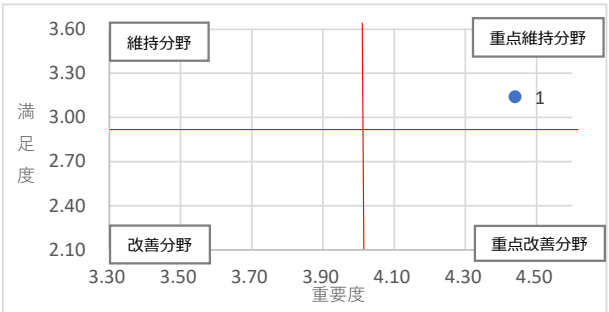
	R５決算額（千円）	R６決算額	R７決算見込	R８事業費	R９事業費
直接事業費	1,585	2,045	9,514		
概算人件費	2,206	2,709	2,709		
トータルコスト	3,791	4,754	12,223	0	0
国庫/県支出金	52	476	0	0	0
その他	0	0	0	0	0

R６概算人件費			
	正規職員	0.65 人	2,709 千円
	再任用職員	人	千円
	会計年度任用職員	人	千円
	その他	人	千円
	合計		2,709 千円

成果指標			基準値	R５	R６	R７	R８	R９
①	－	計画値						
		実績値						
②		計画値						
		実績値						

町民満足度調査結果（令和３年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	防災・災害対策	4.44	3.14
2			
3			
全体平均		4.09	2.93



重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	備蓄食材の更新や地域防災計画改定に伴う防災会議の開催などを予定通り実施できた。
	課題	資機材や備蓄食品の保管スペースを確保するとともに、災害時の利用を意識した配置を検討する必要がある。また、町が備蓄できる量は限度があるため、家庭備蓄の推奨や家具の転倒防止など、家庭での防災意識の向上をさらに図る必要がある。
今年度	成果（実績）	備蓄品および職員装備の更新のほか、地域防災計画改定に伴う防災会議の開催を予定通り実施できた。
	課題	災害時の利用を意識した適切な分散配備を検討し、実施する必要がある。また、家庭備蓄の推奨と合わせ、家の耐震化や家具の転倒防止の啓発を、より一層進める必要がある。

※　総合評価：「良好」「適当」「不良」　　※　方向性　「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持

２次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和６年度　実績）

予算等事業名	災害時応急救護所運営事業				所管課	防災安全課
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	●
事業対象	町民・医療関係	目的	町の防災力の向上及び危機管理体制の強化を図り、災害時における迅速な応急活動に努める。			
事業概要	・災害時医療対策委員会の運営 ・災害時応急救護所の設営訓練					

事業予算							
会計	01	款項目	02	01	11	大事業	災害時応急救護所運営事業

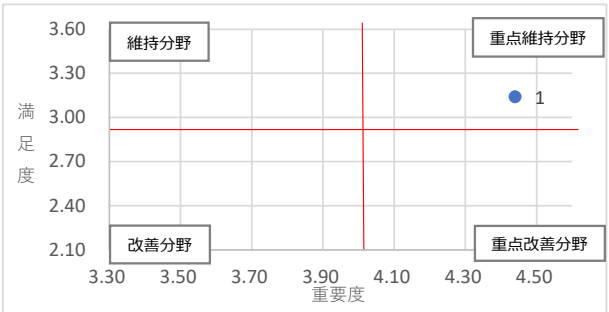
		R５決算額（千円）	R６決算額	R７決算見込	R８事業費	R９事業費
	直接事業費	635	548	666		
	概算人件費	893	859	859		
トータルコスト		1,528	1,407	1,525	0	0
国庫/県支出金		0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0

R６概算人件費			
	正規職員	0.19 人	859 千円
	再任用職員	人	千円
	会計年度任用職員	人	千円
	その他	人	千円
	合計		859 千円

成果指標			基準値	R５	R６	R７	R８	R９
①	－	計画値						
		実績値						
②		計画値						
		実績値						

町民満足度調査結果（令和３年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	防災・災害対策	4.44	3.14
2			
3			
全体平均		4.09	2.93



重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	新型コロナウイルス感染症により実施できていなかった災害時応急救護所の設営訓練を実施し、実災害を想定した医師会などとの連携体制を確認できた。
	課題	実災害時での対応を意識した関係部署間の認識の擦り合わせが必要である。
今年度	成果（実績）	新型コロナウイルス感染症により実施できていなかった災害時応急救護所の設営訓練を実施し、実災害を想定した医師会などとの連携体制を確認できた。
	課題	災害時医療以外の医師会が関係する訓練（多数遺体対応訓練等）など、実災害を想定し幅広く検討する必要がある。

※　総合評価：「良好」「適当」「不良」　　※　方向性　「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持

２次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和６年度　実績）

予算等事業名	自転車等対策事業				所管課	防災安全課
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
			●			
事業対象	町民・事業者	目的	二宮駅を中心とした周辺の整備を図り、町の玄関として町民の誰もが誇りに思える駅前空間を実現するため、安全で快適な交通の確保のための計画策定をする。			
事業概要	自転車駐車場維持管理、運営					

事業予算							
会計	01	款項目	02	01	09	大事業	自転車等対策事業

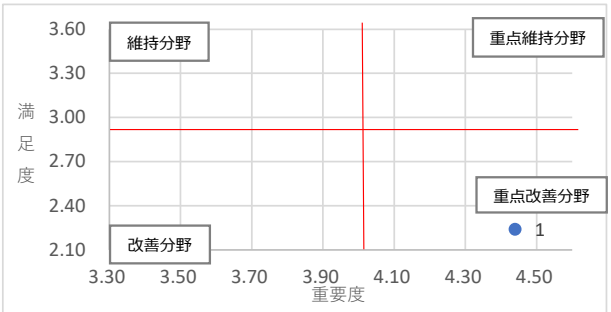
	R５決算額（千円）	R６決算額	R７決算見込	R８事業費	R９事業費
直接事業費	31,490	32,556	33,838		
概算人件費	1,072	722	722		
トータルコスト	32,562	33,278	34,560	0	0
国庫/県支出金	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0

R６概算人件費			
正規職員	0.17 人	722 千円	
再任用職員	人	千円	
会計年度任用職員	人	千円	
その他	人	千円	
合計		722 千円	

成果指標			基準値	R５	R６	R７	R８	R９
①	駐輪場利用台数（台）	計画値	95,632	－	－	－	－	－
		実績値		100,243	100,766			
②		計画値						
		実績値						

町民満足度調査結果（令和３年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	中心市街地等の整備・誘導	4.08	2.24
2			
3			
全体平均		4.09	2.93



重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	年度当初に予想していた駐車台数を大幅に上回り、収入増となった。
	課題	原動機付自転車について、50ccが製造中止となる予定があることから50ccを超える型が増えてくると予想されるが、どの程度の増加が見られるのか状況を注視していく必要がある。（状況によっては駐車スペース拡充が必要。）また、今後の人口減少傾向を踏まえ、借地に設けている臨時駐車場の精査についても利用状況を注視して検討する必要がある。
今年度	成果（実績）	必要に応じて老朽化したラックを撤去し、増加傾向にある電動自転車の駐車スペースを確保するなど、ニーズに応じた駐輪場運営が実施できた。
	課題	施設の老朽化が進んでいる。125ccバイクや電動自転車の利用者が増えており、収納スペース等の確保や適切な管理方法を検討する必要がある。また、無施錠の自転車の盗難が増えているため、犯罪抑止についても検討する必要がある。

※　総合評価：「良好」「適当」「不良」　　※　方向性　「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持

２次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和６年度　実績）

予算等事業名	交通安全対策事業				所管課	防災安全課
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
				●	●	
事業対象	町民・事業者	目的	町民の交通安全指導の普及高揚を図るとともに、交通安全施設の維持管理を行い、交通事故防止に努める。			
事業概要	・二宮町交通安全対策協議会の運営 ・交通安全思想普及啓発　・道路反射鏡維持管理					

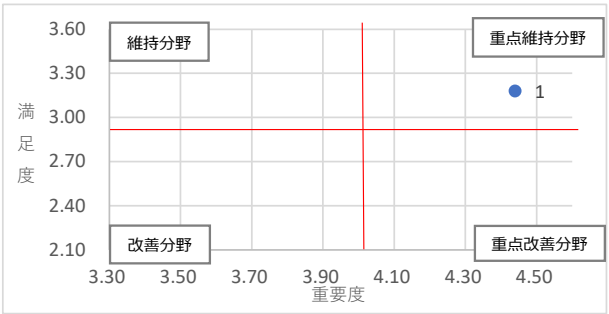
事業予算								
会計	01	款項目	02	01	09	大事業	交通安全推進事業	
		R５決算額（千円）	R６決算額	R７決算見込	R８事業費	R９事業費		
	直接事業費	1,485	1,455	1,447				
	概算人件費	1,208	727	727				
トータルコスト		2,693	2,182	2,174	0	0		
国庫/県支出金		0	0	0	0	0		
その他		0	0	0	0	0		

R６概算人件費			
正規職員	0.17 人	727 千円	
再任用職員	人	千円	
会計年度任用職員	人	千円	
その他	人	千円	
合計		727 千円	

成果指標			基準値	R５	R６	R７	R８	R９
①	－	計画値						
		実績値						
②		計画値						
		実績値						

町民満足度調査結果（令和３年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	交通安全・防犯体制	4.38	3.18
2			
3			
全体平均		4.09	2.93



重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	各団体との連携により、効率的かつ効果的な交通安全運動や教室を開催できた。
	課題	二輪事故が増加傾向にあることから警察や関係団体と協力しつつ、方策を検討する必要がある。 町の特徴である高齢者事故や二宮小学校の自由登校の開始など、状況に応じた対策を講じる必要がある。 カーブミラーの腐食や劣化が見られる箇所があり、中期的な計画感での改善が必要である。
今年度	成果（実績）	各団体との連携により、効果的な交通安全運動や教室を開催できた。
	課題	町の特徴である高齢者が関係する交通事故への対策を講じる必要がある。 カーブミラーの腐食や劣化が見られる箇所があり、中期的な計画感での改善が必要である。 今後の交通安全協会の動向を見据えた対応策を検討していく必要がある。

※　総合評価：「良好」「適当」「不良」　　※　方向性　「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持

２次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和６年度　実績）

予算等事業名	防犯対策事業				所管課	防災安全課
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
				●	●	
事業対象	町民	目的	町民の防犯意識の普及高揚を図るとともに、防犯施設を整備し犯罪のない明るい街づくりに努める。			
事業概要	・防犯灯維持管理 ・防犯意識の普及啓発					

事業予算							
会計	01	款項目	02	01	09	大事業	防犯対策事業

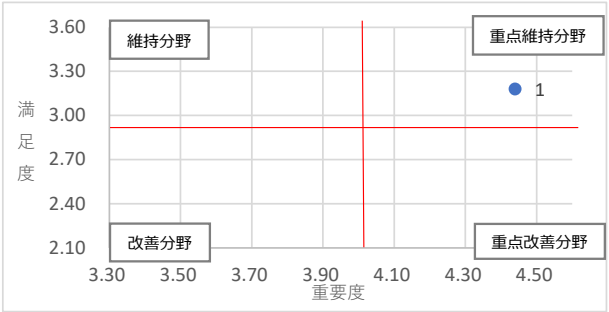
		R５決算額（千円）	R６決算額	R７決算見込	R８事業費	R９事業費
	直接事業費	19,034	20,024	20,943		
	概算人件費	1,172	974	974		
トータルコスト		20,206	20,998	21,917	0	0
国庫/県支出金		0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0

R６概算人件費			
	正規職員	0.23 人	974 千円
	再任用職員	人	千円
	会計年度任用職員	人	千円
	その他	人	千円
	合計		974 千円

成果指標			基準値	R５	R６	R７	R８	R９
①	防犯灯設置基数（基）	計画値	2,368	－	－	－	－	－
		実績値		2,398	2,399			
②		計画値						
		実績値						

町民満足度調査結果（令和３年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	交通安全・防犯体制	4.38	3.18
2			
3			
全体平均		4.09	2.93



重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	各団体との連携により、効率的かつ効果的な防犯活動を実施できた。 防犯灯の故障等については、件数も少なく、早急に対応することができた。
	課題	防犯活動団体については、団体構成員の高齢化など、活動を継続するうえで新たな人員の確保が問題となっている。 防犯灯の設置について、照度や距離などを定めた具体的な設置基準を設ける必要がある。
今年度	成果（実績）	各団体との連携により、効果的な防犯活動を実施できた。 防犯灯は風水害の影響による修繕が増えたが、一般的な故障等は少なく、早急に対応することができた。
	課題	防犯活動団体については、団体構成員の高齢化など、活動を継続するうえで新たな人員の確保が問題となっている。 防犯灯の設置について、照度や距離などを定めた具体的な設置基準を設ける必要がある。

※　総合評価：「良好」「適当」「不良」　　※　方向性　「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持

２次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持